



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
 コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
 理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	105,709	4.6	8,052	13.3	8,342	9.8	5,621	9.5
2022年3月期	101,027	△0.2	7,109	△25.3	7,598	△21.9	5,132	△22.1

(注) 包括利益 2023年3月期 5,564百万円 (6.8%) 2022年3月期 5,211百万円 (△28.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	164.34	—	7.3	8.7	7.6
2022年3月期	146.55	—	6.9	8.1	7.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	98,188	79,704	79.4	2,283.42
2022年3月期	94,371	76,712	79.8	2,177.99

(参考) 自己資本 2023年3月期 77,958百万円 2022年3月期 75,285百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	7,121	△304	△2,860	52,639
2022年3月期	5,007	△1,032	△3,424	48,581

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			百万円	%
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%	
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	2,091	40.9	2.8	
2023年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00	2,219	39.6	2.9	
2024年3月期 (予想)	—	35.00	—	35.00	70.00		39.2		

(注) 2023年3月期における1株当たり期末配当金については、30円から35円に変更しております。詳細については、本日 (2023年5月10日) 公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	53,500	2.1	4,080	6.3	4,080	3.2	2,750	4.1	80.55
通期	111,000	5.0	9,000	11.8	9,000	7.9	6,100	8.5	178.67

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	37,375,636株	2022年3月期	37,375,636株
2023年3月期	3,234,655株	2022年3月期	2,809,024株
2023年3月期	34,204,732株	2022年3月期	35,023,281株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	96,149	5.4	7,064	10.7	8,008	14.9	5,709	16.4
2022年3月期	91,191	△0.6	6,382	△20.9	6,972	△15.2	4,906	△13.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	166.92	—
2022年3月期	140.09	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	90,390	73,673	81.4	2,153.95
2022年3月期	86,884	70,730	81.4	2,046.20

(参考) 自己資本 2023年3月期 73,537百万円 2022年3月期 70,730百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,000	3.7	3,580	△14.6	2,500	△19.0	73.23
通期	102,000	6.1	7,900	△1.4	5,500	△3.7	161.10

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提や計画に基づく予測が含まれており、経済及び業界の動向・価格競争・為替レートの変動等にかかるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する情報は5ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
4. 個別財務諸表及び主な注記	19
(1) 貸借対照表	19
(2) 損益計算書	21
(3) 株主資本等変動計算書	22
5. その他	24
(1) 役員の異動	24
(2) その他	24

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益	自己資本当期 純利益率(%)
2023年3月期	105,709	8,052	8,342	5,621	164円34銭	7.3
2022年3月期	101,027	7,109	7,598	5,132	146円55銭	6.9
増減率(%)	4.6	13.3	9.8	9.5	—	—

<連結経営成績に関する定性的情報>

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や旅行支援策、外国人旅行者の増加により、旅行や外食などの産業で需要の回復が見られるものの、エネルギー価格の上昇による電気料金やガソリン価格の上昇、食品品や生活用品の値上げが続いており、家計への負担に対する今後の生活への不安感から、国内消費市場は依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況の下、当社グループとしましては2022年5月20日に公表いたしました「ドウシヤグループ中期経営計画」の1期目として、取り組んでまいりました。

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高105,709百万円(前期比104.6%)、売上総利益28,666百万円(前期比102.3%)、営業利益8,052百万円(前期比113.3%)、経常利益8,342百万円(前期比109.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益5,621百万円(前期比109.5%)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

食品関連では、焼き干し芋やグミ、ピーナッツ類などの素材菓子の販売が好調に推移したほか、チョコレートペンなどの製菓材料がクリスマスやバレンタインの需要により好調に推移しました。

家電関連では、インターネット動画配信サービスを快適に楽しんでもらうことに特化した「ORION (オリオン) Android TV™搭載 チューナーレス スマートテレビ」が好調に推移しました。

一方、加湿器や暖房器具など冬物家電の販売が伸び悩みました。

また、開発型ビジネスモデル全体として、特に上半期は、急速な原材料コストの上昇や円安となった影響を受け、セグメント利益が低下したものの、一部商品の値上げや改廃により、セグメント利益率は回復基調にあります。

その結果、当セグメントの売上高は54,777百万円(前期比102.6%)、セグメント利益3,949百万円(前期比102.6%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

ブランドバッグや時計など有名ブランド関連では、行動制限の緩和や旅行支援策により、ビジネス・ユースや旅行用バッグなどで需要の回復が見られるほか、スマートウォッチの販売も好調に推移しました。

ビューティ関連では、化粧水やUVスプレーが、アジア圏への海外販売を中心に伸長しました。

ギフト関連では、ブランドスイーツ「T. D. E a r l y」がメディア露出による認知度向上や販路拡大とともに、旅行土産としても好調に推移しました。

また、さつまいも・むらさき芋・安納芋などお芋それぞれの甘みや特徴を活かした新ブランドスイーツ「O I M O M E R C I (オイモメルシー)」を発売し、2023年2月以降、百貨店の催事企画などで好調な販売となっております。

中元・歳暮ビジネスについては、これまで得意先各自で行っていたカタログ制作や売場づくり、受注処理など事業運営に係る業務を当社が丸ごと請負する事業の拡大により伸長しました。

アミューズメント関連では、行動制限の緩和などでゲームセンターやアミューズメント施設にも賑わいが戻ってきた中、人気ゲームやアニメのキャラクターを用いた玩具商品の導入強化などにより、好調に推移しました。

また、当社が販売代理店として展開しているアメリカ発のサーマルウェアブランド「STANLEY (スタンレー)」は、2022年3月にオフィシャルオンラインストアがオープンしたほか、各得意先への販売も拡大し、好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は46,654百万円(前期比108.4%)、セグメント利益4,019百万円(前期比124.7%)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(1) 流動資産

当連結会計年度における流動資産の残高は、75,796百万円（前連結会計年度72,003百万円）となり、3,793百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金4,058百万円、売掛金376百万円の増加及び、受取手形75百万円、電子記録債権274百万円、商品及び製品140百万円、その他153百万円の減少によるものであります。

(2) 固定資産

当連結会計年度における固定資産の残高は、22,392百万円（前連結会計年度22,367百万円）となり、24百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物（純額）469百万円、投資有価証券289百万円、繰延税金資産171百万円の増加及び建設仮勘定771百万円、リース資産（純額）60百万円の減少によるものであります。

(3) 流動負債

当連結会計年度における流動負債の残高は、10,800百万円（前連結会計年度9,899百万円）となり、901百万円増加いたしました。これは主に、買掛金130百万円、未払法人税等338百万円、その他459百万円の増加によるものであります。

(4) 固定負債

当連結会計年度における固定負債の残高は、7,683百万円（前連結会計年度7,759百万円）となり、75百万円減少いたしました。これは主に、退職給付に係る負債26百万円の増加、リース債務77百万円、繰延税金負債24百万円の減少によるものであります。

(5) 純資産

当連結会計年度における純資産の残高は、79,704百万円（前連結会計年度76,712百万円）となり、2,991百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益5,621百万円、その他有価証券評価差額金175百万円、非支配株主持分183百万円、新株予約権135百万円の増加及び剰余金の配当2,061百万円、自己株式の取得646百万円、繰延ヘッジ損益478百万円の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,007	7,121	2,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,032	△304	728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,424	△2,860	△563
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	710	4,058	3,347
現金及び現金同等物の期末残高	48,581	52,639	4,058
借入金の期末残高	6,600	6,600	—
総資産	94,371	98,188	3,817
純資産	76,712	79,704	2,991

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は52,639百万円となり、前連結会計年度末より4,058百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は7,121百万円（前期は5,007百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益8,342百万円、減価償却費752百万円、棚卸資産の減少額144百万円、利息及び配当金の受取額156百万円による増加及び法人税等の支払額2,335百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は304百万円（前期は1,032百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出199百万円、無形固定資産の取得による支出82百万円、投資有価証券の取得による支出21百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は2,860百万円（前期は3,424百万円の減少）となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出646百万円、配当金の支払額2,060百万円及びリース債務の返済による支出153百万円による減少によるものであります。

	第43期 2019年3月期	第44期 2020年3月期	第45期 2021年3月期	第46期 2022年3月期	第47期 2023年3月期
自己資本比率 (%)	76.8	84.3	78.0	79.8	79.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	71.4	56.2	69.9	54.9	67.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	150.6	20.9	81.9	142.7	98.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,033.4	2,035.1	2,998.7	1,001.5	1,424.4

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

5. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

6. 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式を除く発行済株式数により算出しております。

7. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2024年3月期	111,000	9,000	9,000	6,100	178円67銭
2023年3月期	105,709	8,052	8,342	5,621	164円34銭
増減率 (%)	5.0	11.8	7.9	8.5	—

次期の見通しにつきましては、エネルギー価格の上昇による電気料金やガソリン価格の上昇、食料品や生活用品の値上げが続いており、家計への負担に対する今後の生活への不安感から、国内消費市場は依然として厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループの2024年3月期の経営方針として『「逆算思考」で未来を創ろう!』を掲げました。

また、当社グループは2022年5月に2023年3月度(47期)から2025年3月度(49期)までの3年間を対象とする中期経営計画を策定し、最終年度である2025年3月度に経常利益100億円の達成を目指しております。

その上で、3カ年計画の2期目となる2024年3月期は、売上高111,000百万円(前期比105.0%)、営業利益9,000百万円(前期比111.8%)、経常利益9,000百万円(前期比107.9%)、親会社株主に帰属する当期純利益6,100百万円(前期比108.5%)の達成に向けて邁進してまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する適切な利益還元を経営の最重要政策と位置づけ、積極的かつ安定的な配当の維持継続や市場環境・資本効率を勘案した自己株式の取得を実施していくとともに、社員の成果に対する報酬制度も考慮し、経営環境の変化に対応できる企業体質の強化と将来の新規事業展開に備えて、内部留保にも配慮していく所存であります。

今後も引き続き、業績向上と財務体質の強化を図りながら経営基盤を強化し、株主の皆様のご期待に沿うべく努力してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,581	52,639
受取手形	330	255
売掛金	12,638	13,015
電子記録債権	1,471	1,196
商品及び製品	8,036	7,896
短期貸付金	13	12
その他	933	780
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	72,003	75,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,073	13,882
減価償却累計額	△5,442	△5,781
建物及び構築物 (純額)	7,630	8,100
土地	9,385	9,385
リース資産	932	974
減価償却累計額	△485	△587
リース資産 (純額)	447	387
建設仮勘定	784	13
その他	2,089	2,255
減価償却累計額	△1,706	△1,875
その他 (純額)	383	379
有形固定資産合計	18,631	18,266
無形固定資産		
リース資産	96	45
その他	319	309
無形固定資産合計	416	354
投資その他の資産		
投資有価証券	1,910	2,200
長期貸付金	20	7
繰延税金資産	280	452
その他	1,119	1,118
貸倒引当金	△11	△7
投資その他の資産合計	3,319	3,771
固定資産合計	22,367	22,392
資産合計	94,371	98,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,916	6,047
リース債務	151	118
未払法人税等	1,192	1,530
役員賞与引当金	57	63
賞与引当金	5	5
その他	2,575	3,034
流動負債合計	9,899	10,800
固定負債		
長期借入金	6,600	6,600
リース債務	391	313
退職給付に係る負債	650	677
資産除去債務	10	10
繰延税金負債	34	10
その他	72	72
固定負債合計	7,759	7,683
負債合計	17,658	18,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	68,054	71,614
自己株式	△4,459	△5,105
株主資本合計	74,861	77,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	232
繰延ヘッジ損益	207	△270
為替換算調整勘定	180	245
退職給付に係る調整累計額	△21	△24
その他の包括利益累計額合計	423	182
新株予約権	—	135
非支配株主持分	1,427	1,610
純資産合計	76,712	79,704
負債純資産合計	94,371	98,188

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	101,027	105,709
売上原価	73,012	77,043
売上総利益	28,014	28,666
販売費及び一般管理費	20,905	20,613
営業利益	7,109	8,052
営業外収益		
受取利息及び配当金	171	156
債務勘定整理益	15	11
為替差益	155	29
関係会社受取業務管理料	5	5
助成金収入	44	4
受取和解金	19	—
その他	110	103
営業外収益合計	522	310
営業外費用		
支払利息	4	4
支払手数料	12	5
その他	16	10
営業外費用合計	33	20
経常利益	7,598	8,342
税金等調整前当期純利益	7,598	8,342
法人税、住民税及び事業税	2,332	2,657
法人税等調整額	12	△61
法人税等合計	2,344	2,596
当期純利益	5,253	5,746
非支配株主に帰属する当期純利益	120	124
親会社株主に帰属する当期純利益	5,132	5,621

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	5,253	5,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	175
繰延ヘッジ損益	△221	△478
為替換算調整勘定	301	124
退職給付に係る調整額	4	△3
その他の包括利益合計	△41	△181
包括利益	5,211	5,564
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,942	5,380
非支配株主に係る包括利益	269	183

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,993	6,273	65,029	△3,576	72,719
当期変動額					
剰余金の配当			△2,108		△2,108
親会社株主に帰属する当期純利益			5,132		5,132
自己株式の取得				△882	△882
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,024	△882	2,142
当期末残高	4,993	6,273	68,054	△4,459	74,861

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	183	428	28	△25	614	1,432	74,767
当期変動額							
剰余金の配当							△2,108
親会社株主に帰属する当期純利益							5,132
自己株式の取得							△882
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△126	△221	152	4	△190	△5	△196
当期変動額合計	△126	△221	152	4	△190	△5	1,945
当期末残高	56	207	180	△21	423	1,427	76,712

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,993	6,273	68,054	△4,459	74,861
当期変動額					
剰余金の配当			△2,061		△2,061
親会社株主に帰属する当期純利益			5,621		5,621
自己株式の取得				△646	△646
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	3,560	△646	2,913
当期末残高	4,993	6,273	71,614	△5,105	77,775

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	56	207	180	△21	423	—	1,427	76,712
当期変動額								
剰余金の配当								△2,061
親会社株主に帰属する当期純利益								5,621
自己株式の取得								△646
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	175	△478	64	△3	△241	135	183	77
当期変動額合計	175	△478	64	△3	△241	135	183	2,991
当期末残高	232	△270	245	△24	182	135	1,610	79,704

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,598	8,342
減価償却費	750	752
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	35	21
株式報酬費用	—	135
助成金収入	△44	△4
受取和解金	△19	—
受取利息及び受取配当金	△171	△156
支払利息	4	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△345	△14
棚卸資産の増減額 (△は増加)	704	144
仕入債務の増減額 (△は減少)	6	128
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△447	△9
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	172	△29
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△31	△36
その他	20	22
小計	8,211	9,302
利息及び配当金の受取額	172	156
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△3,435	△2,335
助成金の受取額	44	4
和解金の受取額	19	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,007	7,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△420	△199
無形固定資産の取得による支出	△34	△82
投資有価証券の取得による支出	△521	△21
貸付けによる支出	△30	—
貸付金の回収による収入	5	13
その他の支出	△37	△17
その他の収入	6	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,032	△304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△882	△646
リース債務の返済による支出	△158	△153
配当金の支払額	△2,108	△2,060
非支配株主への配当金の支払額	△275	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,424	△2,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	710	4,058
現金及び現金同等物の期首残高	47,870	48,581
現金及び現金同等物の期末残高	48,581	52,639

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月19日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式425,600株の取得を行いました。この結果、当連結会計年度において自己株式が646百万円増加し、当連結会計年度末において自己株式が5,105百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、機能別のセグメントから構成されており、経済的特徴及び製品等の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「開発型ビジネスモデル」及び「卸売型ビジネスモデル」の2つを報告セグメントとしております。

「開発型ビジネスモデル」は自社で商品企画から開発、販売までを手掛ける「メーカー機能」のビジネスであり、家電・家庭用品、収納関連、衣料、食品・酒類等があります。

「卸売型ビジネスモデル」は国内外のメーカーから商品を仕入れて販売する「調達・加工機能」のビジネスであり、時計や鞆関連を中心とした海外の「有名ブランド品」と、自社オリジナルのアソートギフトを中心とした「NB加工品」に大別されます。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務諸表 計上額(注) 5
	開発型ビジ ネスモデル	卸売型ビジ ネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	53,398	43,055	96,454	4,423	100,877	—	100,877
その他の収益	—	—	—	149	149	—	149
外部顧客への 売上高	53,398	43,055	96,454	4,572	101,027	—	101,027
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	8,482	8,482	△8,482	—
計	53,398	43,055	96,454	13,055	109,509	△8,482	101,027
セグメント利益	3,848	3,222	7,071	510	7,582	△472	7,109
セグメント資産	14,841	7,970	22,812	7,087	29,900	64,470	94,371
その他の項目							
減価償却費	2	—	2	119	122	627	750

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△472百万円は、セグメント間取引の消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△310百万円及びその他調整額△217百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額64,470百万円は、セグメント間債権・債務相殺消去△2,235百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産66,743百万円及びその他調整額△37百万円が含まれております。

4. 減価償却費の調整額627百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3、4	連結財務諸表 計上額 (注) 5
	開発型ビジ ネスモデル	卸売型ビジ ネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	54,777	46,654	101,431	4,120	105,551	—	105,551
その他の収益	—	—	—	158	158	—	158
外部顧客への 売上高	54,777	46,654	101,431	4,278	105,709	—	105,709
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	8,282	8,282	△8,282	—
計	54,777	46,654	101,431	12,560	113,992	△8,282	105,709
セグメント利益	3,949	4,019	7,969	718	8,688	△635	8,052
セグメント資産	14,576	7,787	22,363	7,931	30,294	67,894	98,188
その他の項目							
減価償却費	2	—	2	126	129	623	752

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△635百万円は、セグメント間取引の消去96百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△545百万円及びその他調整額△186百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額67,894百万円は、セグメント間債権・債務相殺消去△2,325百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産69,951百万円及びその他調整額268百万円が含まれております。
4. 減価償却費の調整額623百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
5. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を記載しているため、省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を記載しているため、省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,177円99銭	2,283円42銭
1株当たり当期純利益	146円55銭	164円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当連結会計年度は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、前連結会計年度は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,132	5,621
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(百万円)	5,132	5,621
普通株式の期中平均株式数(千株)	35,023	34,204

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,316	48,792
受取手形	194	141
電子記録債権	1,187	904
売掛金	11,615	11,805
商品及び製品	6,960	7,124
前渡金	330	378
前払費用	71	65
その他	384	315
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	66,057	69,528
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,997	6,710
構築物	201	191
機械及び装置	64	59
車両運搬具	3	1
工具、器具及び備品	133	129
土地	6,601	6,601
リース資産	363	331
建設仮勘定	12	28
有形固定資産合計	14,377	14,053
無形固定資産		
借地権	14	14
商標権	8	7
ソフトウェア	193	160
リース資産	96	45
その他	29	66
無形固定資産合計	343	292
投資その他の資産		
投資有価証券	1,526	1,800
関係会社株式	1,664	1,664
従業員に対する長期貸付金	3	2
関係会社長期貸付金	1,570	1,573
破産更生債権等	10	7
長期前払費用	23	19
繰延税金資産	256	386
その他	1,062	1,069
貸倒引当金	△11	△7
投資その他の資産合計	6,106	6,516
固定資産合計	20,827	20,862
資産合計	86,884	90,390

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,856	4,795
リース債務	119	91
未払金	1,916	2,022
未払費用	255	264
未払法人税等	1,087	1,321
前受金	189	151
預り金	56	55
前受収益	13	13
役員賞与引当金	50	60
その他	7	375
流動負債合計	8,550	9,149
固定負債		
長期借入金	6,600	6,600
リース債務	340	285
退職給付引当金	580	600
資産除去債務	10	10
その他	72	72
固定負債合計	7,603	7,568
負債合計	16,154	16,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金		
資本準備金	5,994	5,994
その他資本剰余金	279	279
資本剰余金合計	6,273	6,273
利益剰余金		
利益準備金	166	166
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	14	13
別途積立金	53,600	56,600
繰越利益剰余金	9,901	10,550
利益剰余金合計	63,681	67,329
自己株式	△4,459	△5,105
株主資本合計	70,489	73,490
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56	231
繰延ヘッジ損益	184	△184
評価・換算差額等合計	240	46
新株予約権	—	135
純資産合計	70,730	73,673
負債純資産合計	86,884	90,390

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	91,191	96,149
売上原価		
商品期首棚卸高	7,899	6,960
当期商品仕入高	64,411	69,823
合計	72,311	76,784
商品期末棚卸高	6,960	7,124
商品売上原価	65,350	69,659
売上総利益	25,841	26,489
販売費及び一般管理費	19,458	19,425
営業利益	6,382	7,064
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	445	840
債務勘定整理益	15	11
関係会社受取業務管理料	19	19
為替差益	7	0
助成金収入	43	4
受取補償金	—	—
その他	76	75
営業外収益合計	614	958
営業外費用		
支払利息	4	4
支払手数料	12	5
貸倒引当金繰入額	—	—
その他	6	4
営業外費用合計	24	15
経常利益	6,972	8,008
税引前当期純利益	6,972	8,008
法人税、住民税及び事業税	2,050	2,344
法人税等調整額	15	△45
法人税等合計	2,065	2,298
当期純利益	4,906	5,709

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
						圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	4,993	5,994	279	6,273	166	15	49,600	11,101
当期変動額								
剰余金の配当								△2,108
圧縮記帳積立金の取崩						△1		1
別途積立金の積立							4,000	△4,000
当期純利益								4,906
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△1	4,000	△1,200
当期末残高	4,993	5,994	279	6,273	166	14	53,600	9,901

	株主資本			評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
	利益剰余金合計						
当期首残高	60,883	△3,576	68,573	182	369	552	69,126
当期変動額							
剰余金の配当	△2,108		△2,108				△2,108
圧縮記帳積立金の取崩	—		—				—
別途積立金の積立	—		—				—
当期純利益	4,906		4,906				4,906
自己株式の取得		△882	△882				△882
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				△126	△185	△311	△311
当期変動額合計	2,798	△882	1,915	△126	△185	△311	1,604
当期末残高	63,681	△4,459	70,489	56	184	240	70,730

当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		
					圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	4,993	5,994	279	6,273	166	14	53,600	9,901
当期変動額								
剰余金の配当								△2,061
圧縮記帳積立金の取崩						△1		1
別途積立金の積立							3,000	△3,000
当期純利益								5,709
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△1	3,000	649
当期末残高	4,993	5,994	279	6,273	166	13	56,600	10,550

	株主資本			評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
	利益剰余金合計							
当期首残高	63,681	△4,459	70,489	56	184	240	—	70,730
当期変動額								
剰余金の配当	△2,061		△2,061					△2,061
圧縮記帳積立金の取崩	—		—					—
別途積立金の積立	—		—					—
当期純利益	5,709		5,709					5,709
自己株式の取得		△646	△646					△646
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				175	△369	△194	135	△58
当期変動額合計	3,648	△646	3,001	175	△369	△194	135	2,942
当期末残高	67,329	△5,105	73,490	231	△184	46	135	73,673

5. その他

(1) 役員の変動

1. 代表者の変動

該当事項はありません。

2. その他役員の変動

・新任取締役候補

新役名	旧役名	氏名	就任予定日
取締役兼常務執行役員	常務執行役員	小柳 伸成	2023年6月29日

・新任監査役候補

新役名	氏名	就任予定日
(社外) 監査役	鈴鹿 良夫	2023年6月29日

・退任予定監査役

旧役名	氏名	退任予定日
(常勤) 監査役	坂本 明	2023年6月29日
(社外) 監査役	小山 史郎	2023年6月29日

当事業年度の第3四半期報告書の提出後、当決算短信の提出日までの執行役員の変動は次のとおりであります。

・役職の変動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
執行役員 第9事業本部長兼AVライティング事業部長	執行役員 家電事業部長	西山 淳	2023年1月5日
常務執行役員 経営企画、人事企画、EC事業推進担当役員、社長室長兼IR広報担当	常務執行役員 経営企画、人事企画、EC事業戦略担当役員、社長室長、IR広報担当兼EC事業戦略部ディレクター	小柳 伸成	2023年4月7日
常務執行役員 第1事業本部長兼イタリア事務所担当役員	執行役員 第1事業本部長兼イタリア事務所担当役員	米田 英司	2023年4月7日
執行役員 食品・酒類事業部長	食品・酒類事業部長	岡村 達也	2023年4月7日
執行役員 アパレル事業部長	アパレル事業部長	野村 和世	2023年4月7日
執行役員 ブランドバッグ&ビューティ事業部長	ブランドバッグ&ビューティ事業部長	若尾 一成	2023年4月7日
執行役員 ギフト事業部長	ギフト事業部長	井田 幸雄	2023年4月7日
執行役員 セールスサポートセンター統括ディレクター	セールスサポートセンター統括ディレクター	百瀬 静香	2023年4月7日

(2) その他

該当事項はありません。